

問

# 多面的機能支払交付金の行政の関わりは

答 積極的に取り組む

問 現在、取り組んでいる組織件数は。

農林振興課長 既存の9組織に加え、新たに10組織が取り組む。

問 町でも積極的に組織化を勧めているが、行政の関わりは。

農林振興課長 農家が簡

単に取り組める方法を積極的に検討する。

問 現在、那須町に組織してある協議会の管理を一元化できないか。

農林振興課長 新たな制度として10組織が加わるので、推進体制ができるよう検討する。

問 今後十年、二十年先を見越した農業の方針を、この制度とともに示す時期

町長 農地流動化に対しての受け皿、公社的なものを早急に考え、難局を乗り越えたい。

## 農地中間管理事業の内容は

答 現在借受け希望者は69名

問 現在の農地借受け希望者人数は。

農林振興課長 旧那須村で35名、旧伊王野村16名、旧芦野町18名で合計69名です。

問 この事業の農地は、水田、畑、牧草地等が含まれるが耕作放棄地も含むのか。

農林振興課長 再生不可能な耕作放棄地については、管理機構では借受けしない。

問 土地改良区との連携が必要で、管理機構に貸し出した場合、賦課金はどういうに賦課するのか。

農林振興課長 管理機構で賦課する。

問 農地の賃借があつた場合に、組合員の資格取得喪失提出者は。

農林振興課長 管理機構において、権利関係を調査の上、対応する。

問 農地中間管理機構が受けた農地の固定資産税は。

稅務課長 管理機構が一時所有した場合でも、一月一日現在の所有者に課税する。

稲刈りの様子



会議の様子